

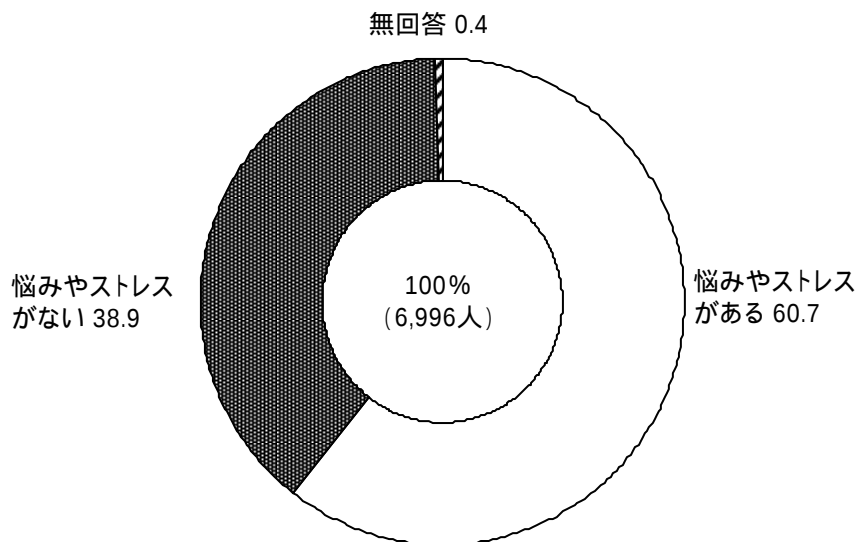
第7章 悩みやストレスの状況

1 悩みやストレスの状況

日常生活において、現在悩みやストレスがあるか尋ねたところ「ある」と回答した人は60.7%であった。(図 -7-1)

問 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

図 -7-1 悩みやストレスの状況

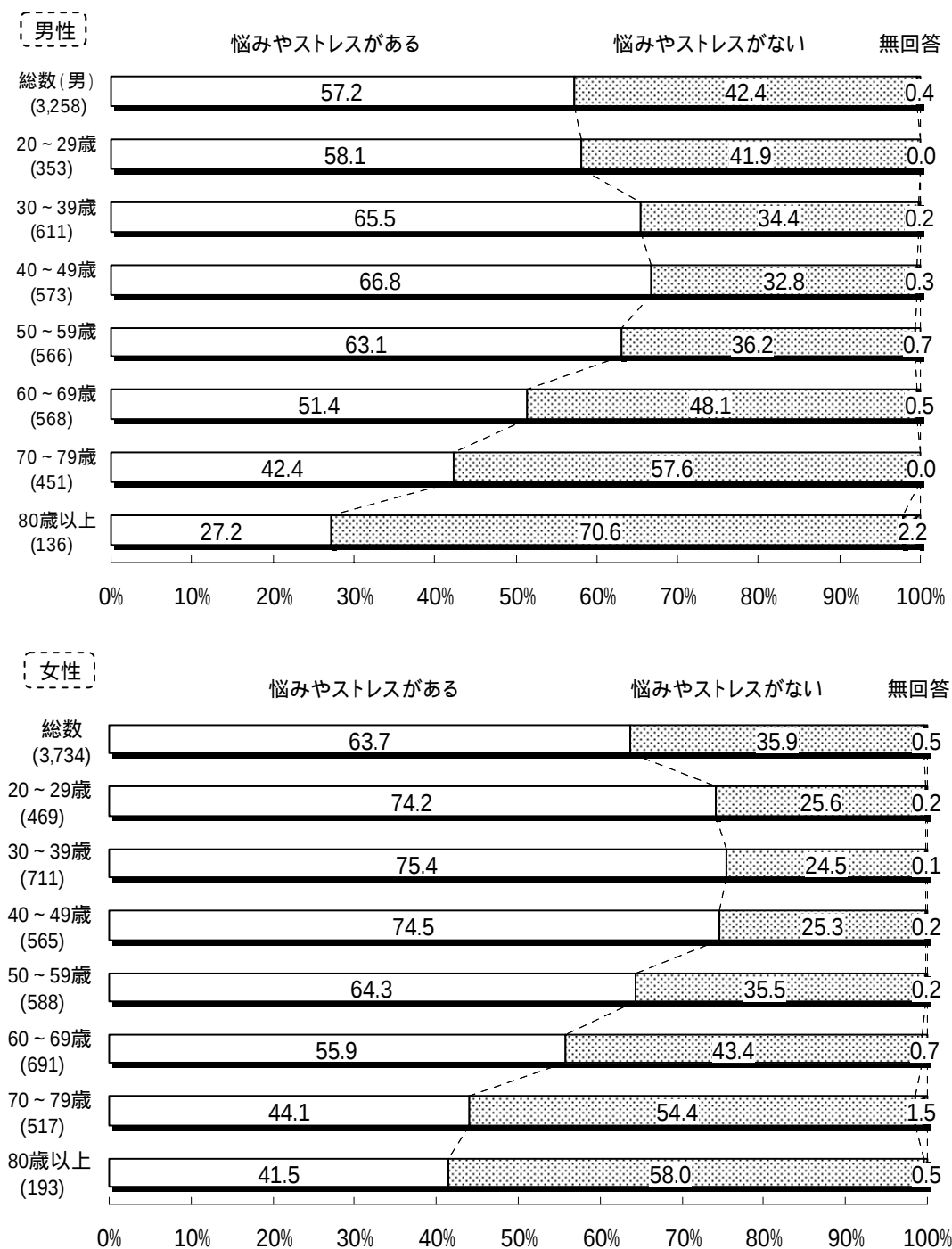


(1) 悩みやストレスの状況 - 性・年齢階級別

悩みやストレスがある人の割合は、男性より女性のほうが高い。

悩みやストレスの状況を性・年齢階級別にみると、悩みやストレスがあると答えた割合は、男性 57.2%、女性 63.7%と女性の方が高く、特に 20 代から 40 代の女性は、7 割以上が悩みやストレスがあると答えている。(図 -7-2)

図 -7-2 悩みやストレスの状況 - 性・年齢階級別

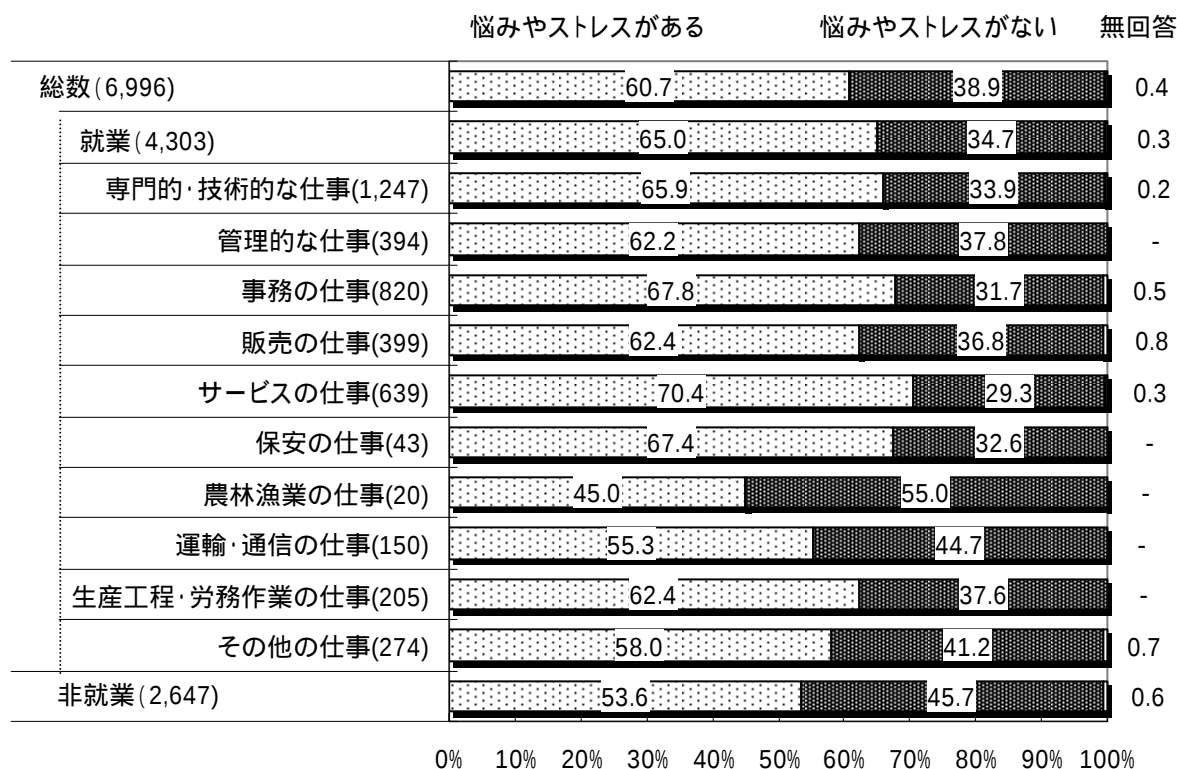


(2) 悩みやストレスの状況 - 仕事の種類別

サービスの仕事をしている人は、7割以上が「悩みやストレスがある」と回答

悩みやストレスの状況を仕事の種類別にみると、「悩みやストレスがある」と答えた人の割合は、就業者が 65.0%、非就業者が 53.6%と就業者の方が高くなっている。特に、サービスの仕事をしている人は、悩みやストレスがある人の割合が 70.4%と 7 割を超えている。(図 -7-3)

図 -7-3 悩みやストレスの状況 - 仕事の種類別

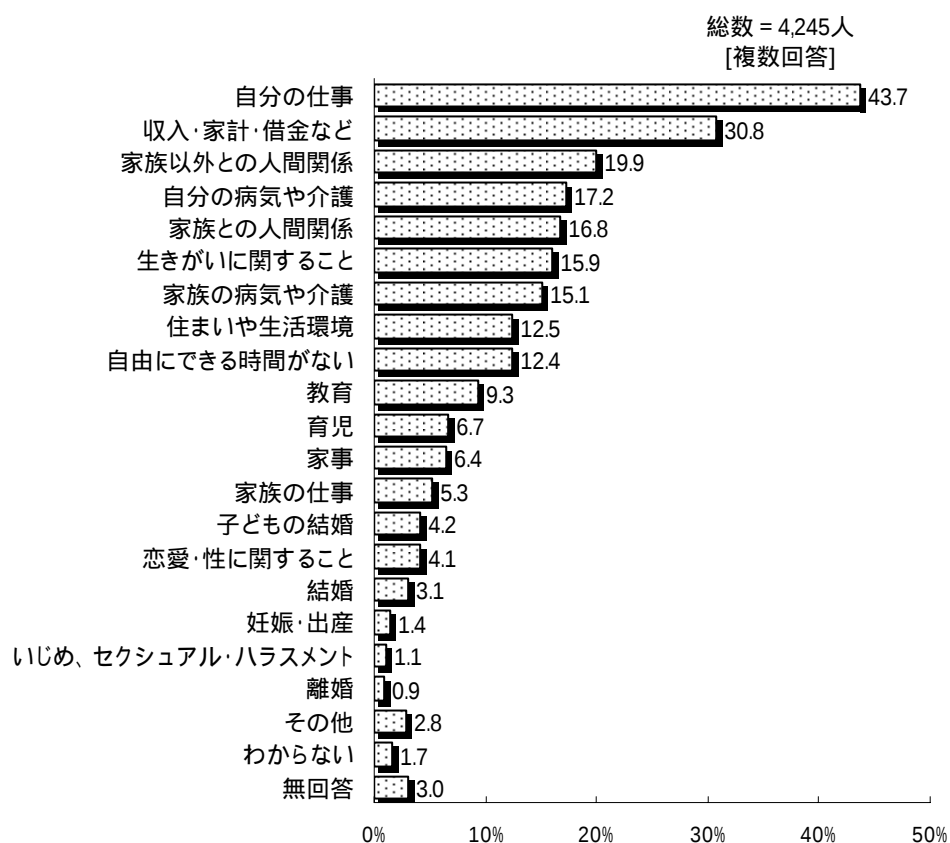


2 悩みやストレスの原因

悩みやストレスがある 4,245 人にその原因を尋ねたところ「自分の仕事」が最も多く 43.7%、次いで「収入・家計・借金など」30.8%、「家族以外との人間関係」19.9%と続く。(図 -7-4)

問 あなたの悩みやストレスの原因は何ですか。

図 -7-4 悩みやストレスの原因



(1) 悩みやストレスの原因〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

悩みやストレスの原因が「自分の仕事」と答えた割合は 30 代男性で 75%

悩みやストレスの原因を性・年齢階級別にみると、男女とも「自分の仕事」と答えた割合が男性 58.0%、女性 32.4%と最も高かった。その中でも 30 代の男性は 74.8%と最も高い。

女性では「育児」、「家事」が原因と答えた割合がそれぞれ 10.3%、10.0%となっているのに対して、男性はそれぞれ 2.1%、1.8%と低い。また、「生きがいに關すること」が原因であると答えた割合は、男女とも 20 代が最も高い。(男性 23.9%、女性 22.7%)(表 -7-1)

表 -7-1 悩みやストレスの原因〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	家族 との 人間 関係	家族 以外 との 人間 関係	恋愛・ 性に 關する こと	結婚	離婚	いじめ、 セクシ ュアル・ ハラス メント	生きが いに 關する こと	自由 に で きる 時 間 が ない	収入・ 家計・ 借金 など	自 分 の 病 気 や 介 護	家 族 の 病 気 や 介 護	妊 娠・ 出 産	育 児	家 事	教育 (学業、 受験及 び進学 を含む)	子 ど も の 結 婚	自 分 の 仕 事	家 族 の 仕 事	住 まい や 生 活 環 境 (公 害、 安 全 及 び 交 通 事 故 を 含 む)	そ の 他 ・ わ か ら な い ・ 無 回 答
総数	100.0 (4,245)	16.8	19.9	4.1	3.1	0.9	1.1	15.9	12.4	30.8	17.2	15.1	1.4	6.7	6.4	9.3	4.2	43.7	5.3	12.5	7.5
男	100.0 (1,865)	12.7	17.6	4.5	3.2	0.7	0.6	15.4	11.6	34.0	15.0	12.8	0.4	2.1	1.8	5.7	3.3	58.0	3.8	11.4	6.6
20～29歳	100.0 (205)	12.2	25.9	13.2	3.4	-	0.5	23.9	16.1	37.6	5.9	4.9	1.0	2.0	1.5	8.8	0.5	64.4	2.4	9.3	6.3
30～39歳	100.0 (400)	11.0	20.3	8.0	5.5	1.5	0.8	15.3	15.8	34.5	5.8	6.5	0.5	5.8	1.8	3.3	-	74.8	3.3	12.3	4.3
40～49歳	100.0 (383)	14.9	18.0	2.9	5.0	0.5	0.8	13.6	14.9	37.3	11.0	11.5	0.5	2.6	1.3	12.8	0.8	69.2	2.6	10.2	7.6
50～59歳	100.0 (357)	12.6	19.0	2.0	1.4	0.6	0.3	12.3	10.1	35.3	14.6	14.6	0.3	0.3	1.7	5.9	2.5	66.9	6.4	13.2	5.9
60～69歳	100.0 (292)	13.0	12.7	1.7	1.4	0.7	1.4	15.8	7.2	32.2	20.5	16.8	0.3	0.7	2.1	1.0	11.0	42.8	5.1	11.0	7.2
70～79歳	100.0 (191)	11.0	8.9	1.0	1.6	0.5	-	14.7	2.6	26.2	35.6	23.0	-	-	2.6	1.0	8.4	11.0	2.1	12.0	9.4
80歳以上	100.0 (37)	18.9	8.1	-	-	-	-	18.9	2.7	18.9	59.5	35.1	-	-	5.4	-	-	-	2.7	10.8	10.8
女	100.0 (2,377)	20.0	21.7	3.8	3.0	1.0	1.5	16.3	13.0	28.4	19.1	17.0	2.1	10.3	10.0	12.2	4.9	32.4	6.4	13.3	8.2
20～29歳	100.0 (948)	14.7	32.8	16.1	7.8	-	2.9	22.7	12.4	28.7	6.0	6.3	6.3	11.2	6.0	13.2	-	52.6	2.3	10.1	6.3
30～39歳	100.0 (536)	19.8	23.9	5.2	6.3	1.9	1.7	13.4	19.4	32.8	10.1	9.7	5.2	29.3	17.9	12.1	1.1	44.4	5.2	15.9	7.6
40～49歳	100.0 (421)	25.4	23.5	1.0	1.9	1.0	1.2	13.3	13.5	32.5	13.1	13.5	-	10.5	13.3	32.5	1.0	42.8	8.6	18.3	5.7
50～59歳	100.0 (378)	22.8	19.0	-	-	0.8	1.1	14.8	11.4	30.2	17.5	28.0	-	0.8	5.8	9.8	7.7	29.9	10.8	10.8	9.3
60～69歳	100.0 (386)	20.2	17.1	0.5	0.5	1.6	1.3	19.4	11.4	26.9	28.0	24.9	0.3	0.3	6.5	0.5	16.1	12.2	7.5	10.4	9.3
70～79歳	100.0 (228)	17.1	13.6	-	-	0.4	0.9	17.1	6.6	15.8	43.0	24.6	-	-	6.1	0.9	6.6	4.4	3.1	11.8	11.0
80歳以上	100.0 (80)	11.3	6.3	-	-	-	-	13.8	3.8	8.8	63.8	18.8	-	-	5.0	-	1.3	-	3.8	13.8	13.8

(2) 悩みやストレスの原因〔複数回答〕 - 就業状況別

主に仕事をしている人の悩みやストレスの原因は「自分の仕事」が7割弱

悩みやストレスの原因を就業状況別にみると、「自分の仕事」と回答した人の割合は、主に仕事をしている人では67.0%と7割弱に上っている。「収入・家計・借金など」と回答した人の割合は、仕事を探していた人では53.6%と過半数となっている。また、「育児」の割合は、家事（専業）の人で18.1%と、総数6.7%に対し高くなっている。（表 -7-2）

表 -7-2 悩みやストレスの原因〔複数回答〕 - 就業状況別

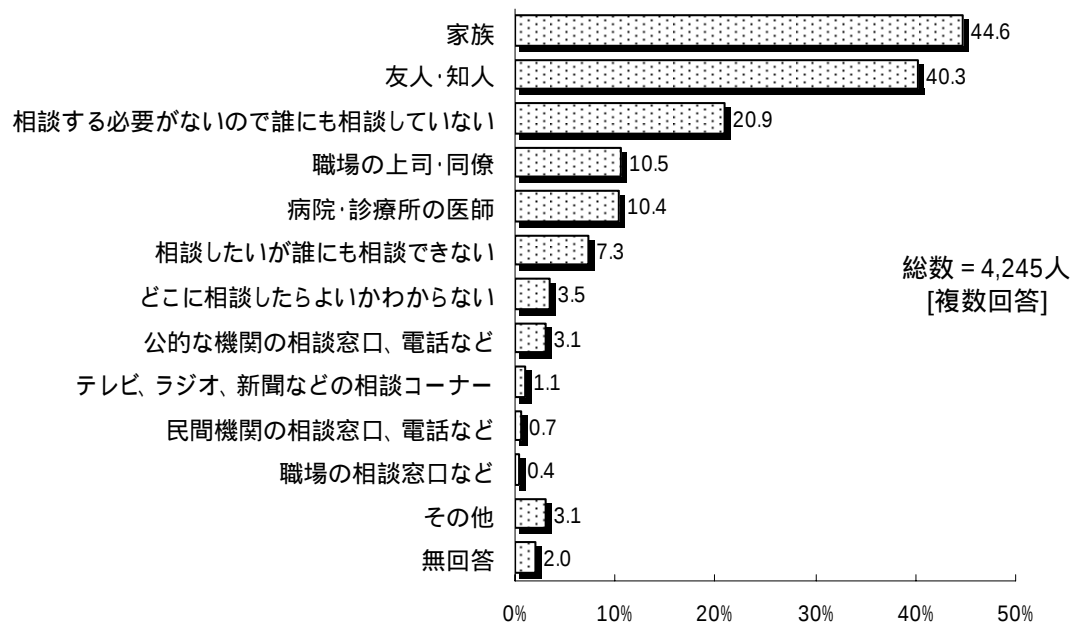
	総 数	家 族 と の 人 間 関 係	家 族 以 外 と の 人 間 関 係	恋 愛 ・ 性 に 関 す る こ と	結 婚	離 婚	い じ め ・ セ ク シ ュ ア ル ・ ハ ラ ス メ ン ト	生 き が い に 関 す る こ と	自 由 に で き る 時 間 が な い	収 入 ・ 家 計 ・ 借 金 な ど	自 分 の 病 気 や 介 護	家 族 の 病 気 や 介 護	妊 娠 ・ 出 産	育 児	家 事	教 育 （ 学 業 ・ 受 験 及 び 進 学 を 含 む ）	子 ど も の 結 婚	自 分 の 仕 事	家 族 の 仕 事	住 ま い や 生 活 環 境 （ 公 害 ・ 安 全 及 び 交 通 事 故 を 含 む ）	其 他 ・ わ か ら な い ・ 無 回 答
総数	100.0 (4,245)	16.8	19.9	4.1	3.1	0.9	1.1	15.9	12.4	30.8	17.2	15.1	1.4	6.7	6.4	9.3	4.2	43.7	5.3	12.5	7.5
就業者	100.0 (2,798)	15.5	21.7	4.8	3.9	0.7	0.9	14.8	14.4	33.6	10.2	12.1	1.3	5.1	5.0	9.5	3.2	59.7	5.7	11.9	6.7
主に仕事	100.0 (2,194)	13.4	21.7	4.9	4.5	0.7	0.9	14.4	14.7	33.1	9.2	10.8	1.1	3.7	3.8	6.7	2.3	67.0	4.9	12.2	6.1
家事などのほかに仕事	100.0 (505)	24.2	20.4	1.6	1.8	0.6	1.0	15.4	13.7	36.2	13.3	18.4	2.4	11.5	10.5	17.4	6.7	33.5	9.3	11.1	9.3
通学のかたわらに仕事	100.0 (53)	15.1	39.6	34.0	5.7	-	1.9	24.5	15.1	24.5	13.2	7.5	-	1.9	-	49.1	-	34.0	3.8	7.5	5.7
その他	100.0 (46)	21.7	10.9	4.3	-	2.2	2.2	17.4	8.7	37.0	17.4	10.9	-	4.3	8.7	6.5	8.7	32.6	6.5	10.9	8.7
仕事を探していた	100.0 (80)	26.3	17.5	10.0	5.0	2.5	2.5	36.3	2.5	53.8	15.0	11.3	-	1.3	1.3	2.5	1.3	62.5	2.5	10.0	2.5
非労働力人口	100.0 (1,340)	18.7	16.4	2.2	1.3	1.2	1.3	17.1	8.9	23.7	32.1	21.7	1.6	10.4	9.6	9.4	6.4	9.6	4.6	13.9	9.0
家事(専業)	100.0 (753)	22.3	17.5	0.9	0.7	1.3	1.6	15.0	12.9	23.0	23.8	21.8	2.4	18.1	14.9	12.0	7.3	7.2	5.4	15.4	8.6
通学のみ	100.0 (77)	14.3	35.1	26.0	7.8	-	2.6	28.6	9.1	22.1	3.9	3.9	-	-	1.3	37.7	-	40.3	2.6	7.8	7.8
その他 (幼児・高齢・病 気等)	100.0 (510)	13.9	12.0	0.6	1.2	1.2	0.8	18.4	2.9	24.9	48.6	24.3	0.8	0.6	3.1	1.4	6.1	8.4	3.5	12.5	9.8

3 悩みやストレスの相談先

悩みやストレスがあると回答した 4,245 人に悩みやストレスの相談先を尋ねたところ、「家族」の割合が最も高く 44.6%、次いで「友人」40.3%と続く。また、「相談する必要がないので、誰にも相談していない」も 20.9%に上った。(図 -7-5)

問 悩みやストレスをどのように相談していますか。

図 -7-5 悩みやストレスの相談先



(1) 悩みやストレスの相談先〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

50代男性は、悩みやストレスを「相談する必要がないので誰にも相談していない」が4割近い。

悩みやストレスの相談先を性・年齢階級別にみると、女性は、「家族に相談している」「友人・知人に相談している」人が、それぞれ半数を超えているが、男性ではそれぞれ36.4%、26.9%となっている。また、「相談する必要がないので、誰にも相談していない」人の割合は、男性29.5%、女性14.1%で、男性の方が高く、特に50代男性は4割近く(39.8%)となっている。

(表 -7-3)

表 -7-3 悩みやストレスの相談先〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	家 族 に 相 談 し て い る	友 人 ・ 知 人 に 相 談 し て い る	職 場 の 上 司 ・ 同 僚 に 相 談 し て い る	公 的 な 機 関 の 相 談 を 利 用 し て い る	民 間 機 関 の 相 談 を 利 用 し て い る	病 院 ・ 診 療 所 の 医 師 に 相 談 し て い る	テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 新 聞 な ど の 相 談 コ ー ナ ー を 利 用 し て い る	職 場 の 相 談 窓 口 な ど で 相 談 し て い る	相 談 し た い が 誰 に も 相 談 で き な い で い る	相 談 し た い が ど こ に も 相 談 し な い	誰 に も 相 談 す る 必 要 が い な い の で、	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (4,245)	44.6	40.3	10.5	3.1	0.7	10.4	1.1	0.4	7.3	3.5	20.9	3.1	2.0
男	100.0 (1,865)	<u>36.4</u>	<u>26.9</u>	12.2	2.6	0.8	9.3	1.0	0.3	9.0	4.3	<u>29.5</u>	2.8	2.1
20～29歳	100.0 (205)	35.1	57.6	17.1	-	-	4.4	0.5	-	5.4	4.4	21.0	2.4	2.0
30～39歳	100.0 (400)	42.3	31.3	22.0	0.5	0.5	3.5	-	0.3	8.0	3.8	25.8	1.5	2.3
40～49歳	100.0 (383)	36.3	26.4	15.7	2.3	0.8	7.3	0.5	0.5	9.9	5.2	30.5	1.8	1.8
50～59歳	100.0 (357)	30.0	19.9	9.5	3.6	0.6	7.6	0.8	0.6	9.2	3.4	<u>39.8</u>	2.0	2.0
60～69歳	100.0 (292)	35.6	20.5	3.4	3.1	1.7	14.0	2.4	-	11.0	4.8	30.5	3.8	1.7
70～79歳	100.0 (191)	37.7	11.0	-	5.8	1.0	22.5	1.6	-	10.5	4.7	25.7	6.3	3.1
80歳以上	100.0 (37)	43.2	13.5	-	10.8	-	32.4	5.4	-	2.7	5.4	18.9	10.8	2.7
女	100.0 (2,377)	<u>51.1</u>	<u>50.8</u>	9.2	3.5	0.7	11.2	1.2	0.4	6.0	2.9	<u>14.1</u>	3.4	2.0
20～29歳	100.0 (348)	54.3	71.3	17.8	1.1	0.6	6.0	-	-	4.9	1.4	10.9	2.0	0.9
30～39歳	100.0 (536)	56.3	58.8	12.3	3.9	0.4	9.3	0.6	0.2	5.2	3.0	14.4	2.2	1.9
40～49歳	100.0 (421)	55.3	57.0	13.3	4.8	0.7	6.9	1.2	0.7	5.2	2.4	11.2	2.9	1.2
50～59歳	100.0 (378)	47.1	48.4	6.1	3.2	1.1	9.8	1.1	1.1	5.8	1.9	18.3	2.9	1.3
60～69歳	100.0 (386)	46.4	37.6	2.3	3.6	1.0	13.7	2.3	0.5	8.8	4.4	16.6	4.9	2.8
70～79歳	100.0 (228)	39.5	26.8	1.3	5.3	0.4	25.4	2.2	-	7.0	4.8	12.3	7.0	5.3
80歳以上	100.0 (80)	55.0	18.8	-	1.3	-	22.5	3.8	-	5.0	3.8	16.3	3.8	2.5

(2) 悩みやストレスの相談先〔複数回答〕 - 仕事の種類別

悩みやストレスを「相談する必要がないので誰にも相談していない」割合は、管理的な仕事をしている人で高い。

悩みやストレスの相談先を仕事の種類別にみると、「家族に相談している」の割合は、就業者(42.0%)の方が非就業者(50.3%)より低く、管理的な仕事(35.5%)、運輸・通信の仕事(32.5%)をしている人たちは3割台であった。「友人・知人に相談している」の割合は、管理的な仕事をしている人で29.0%と総数(40.3%)に比べて10ポイント以上低く、逆に、事務の仕事をしている人は52.0%と高くなっている。また、「相談する必要がないので誰にも相談していない」の割合は、就業者の方が24.2%と非就業者(14.4%)より高く、特に、管理的な仕事をしている人では、34.3%と高くなっている。(表 -7-4)

表 -7-4 悩みやストレスの相談先〔複数回答〕 - 仕事の種類別

	総 数	家 族 に 相 談 し て い る	友 人 ・ 知 人 に 相 談 し て い る	職 場 の 上 司 ・ 同 僚 に 相 談 し て い る	公 的 な 機 関 の 相 談 窓 口 、 電 話 な ど の 相 談 を 利 用 し て い る	民 間 機 関 の 相 談 窓 口 、 電 話 な ど の 相 談 を 利 用 し て い る	病 院 ・ 診 療 所 の 医 師 に 相 談 し て い る	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 、 新 聞 な ど の 相 談 コ ー ナ ー を 利 用 し て い る	職 場 の 相 談 窓 口 な ど で 相 談 し て い る	相 談 し た い が 誰 に も 相 談 で き な い で い る	相 談 し た い が ど こ に 相 談 し た ら よ い か わ か ら な い	相 談 す る 必 要 が な い の で 、 誰 に も 相 談 し て い な い	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (4,245)	44.6	40.3	10.5	3.1	0.7	10.4	1.1	0.4	7.3	3.5	20.9	3.1	2.0
就業	100.0 (2,798)	<u>42.0</u>	41.8	15.4	2.3	0.5	6.1	0.6	0.4	7.6	3.5	<u>24.2</u>	2.5	1.8
専門的・技術的な仕事	100.0 (822)	41.0	36.6	16.1	1.9	0.5	4.7	0.5	0.2	8.0	3.5	27.6	2.4	1.8
管理的な仕事	100.0 (245)	<u>35.5</u>	<u>29.0</u>	15.5	2.0	1.2	8.2	-	0.8	6.1	3.7	<u>34.3</u>	1.2	-
事務の仕事	100.0 (556)	45.1	<u>52.0</u>	17.3	2.5	0.5	7.2	0.4	0.2	4.9	2.9	19.6	2.9	1.8
販売の仕事	100.0 (249)	42.2	42.6	18.1	4.4	0.8	4.8	0.8	0.8	9.6	4.4	20.1	3.6	2.0
サービスの仕事	100.0 (450)	44.7	47.8	16.0	1.6	0.4	6.7	0.9	0.4	9.8	4.0	19.6	1.8	3.1
保安の仕事	100.0 (29)	44.8	31.0	13.8	3.4	-	6.9	-	-	6.9	3.4	17.2	-	-
農林漁業の仕事	100.0 (9)	44.4	55.6	11.1	-	-	-	-	-	-	-	22.2	11.1	11.1
運輸・通信の仕事	100.0 (83)	<u>32.5</u>	32.5	13.3	1.2	-	-	-	-	10.8	3.6	27.7	2.4	2.4
生産工程・労務作業の仕事	100.0 (128)	42.2	41.4	10.2	1.6	0.8	5.5	1.6	-	10.2	3.9	25.0	2.3	0.8
非就業	100.0 (1,420)	<u>50.3</u>	37.7	0.8	4.7	1.0	18.7	2.1	0.4	6.6	3.5	<u>14.4</u>	4.3	2.7

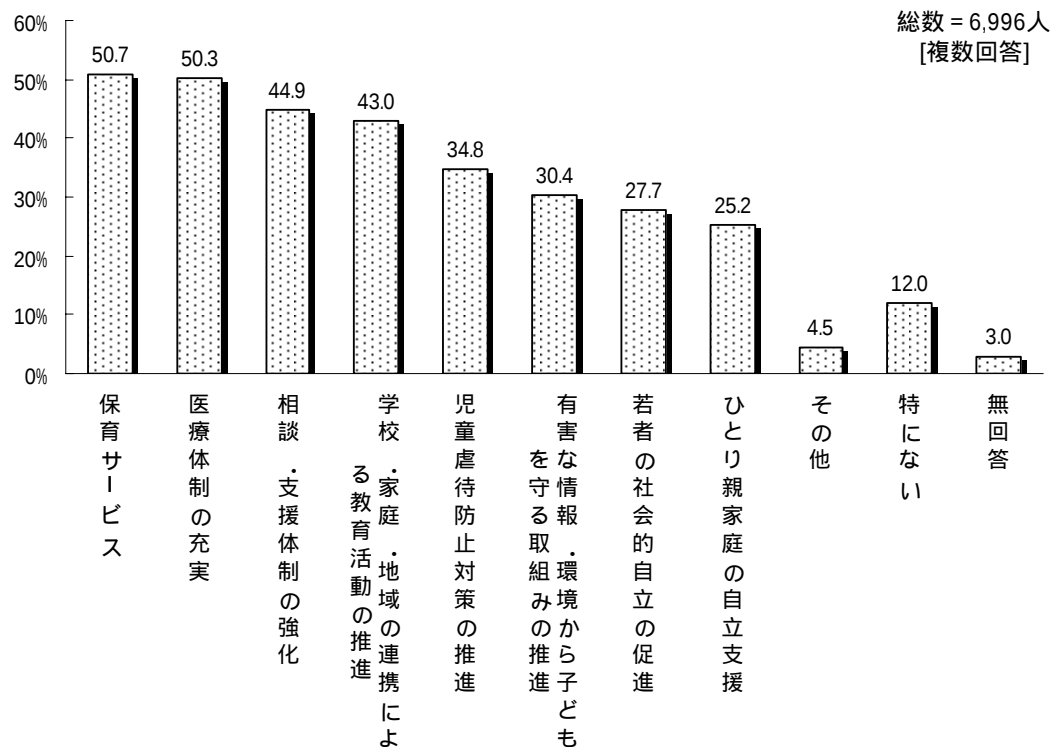
第8章 子育て支援

1 子育て支援のために重要なこと

子育て支援のために重要なことを尋ねたところ「保育サービス(時間外保育・病児保育など)」の50.7%と「医療体制の充実(小児・母子医療)」の50.3%が5割を超えた。(図 -8-1)

問 子育て支援のために重要だと思われることはどんなことですか。

図 -8-1 子育て支援のために重要なこと



(1) 子育て支援のために重要なこと〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

30代では、子育て支援のために「保育サービス・医療サービスの充実」が重要と答えた割合が6割以上

子育て支援のために重要だと思うことを性・年齢階級別にみると、「医療体制の充実（小児・母子医療）」と「保育サービス（時間外保育・病児保育など）の充実」と答えた割合は、30代男性及び20代、30代の女性で6割を超えている。

また、「学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進」の割合は、男女ともに40代が高くなっている（男性48.2%、女性50.3%）。（表 -8-1）

表 -8-1 子育て支援のために重要なこと〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	相 談 ・ 支 援 体 制 の 強 化	子 医 療 体 制 の 充 実 （ 小 児 ・ 母 子 医 療 ）	育 保 育 サ ー ビ ス （ 時 間 外 保 育 ・ 病 児 保 育 な ど ） の 充 実	学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 に よ る 教 育 活 動 の 推 進	若 者 の 社 会 的 自 立 の 促 進 （ 就 労 促 進 な ど ）	児 童 虐 待 防 止 対 策 の 推 進	ひ と り 親 家 庭 の 自 立 支 援 （ 就 業 機 会 の 確 保 な ど ）	有 害 な 情 報 ・ 環 境 か ら 子 ど も を 守 る 取 組 み の 推 進	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	44.9	50.3	50.7	43.0	27.7	34.8	25.2	30.4	4.5	12.0	3.0
男	100.0 (3,258)	43.3	48.5	47.4	43.2	27.7	31.8	23.1	27.0	4.4	13.8	2.5
20～29歳	100.0 (353)	40.8	52.7	51.6	36.5	29.7	32.0	23.5	19.8	4.5	16.4	-
30～39歳	100.0 (611)	46.2	<u>61.9</u>	<u>60.6</u>	45.7	22.1	32.6	24.4	26.7	6.5	6.1	0.8
40～49歳	100.0 (573)	47.1	58.3	52.9	<u>48.2</u>	26.9	34.4	25.1	29.7	5.6	7.7	0.7
50～59歳	100.0 (566)	42.9	44.3	46.3	44.5	29.9	31.3	22.1	23.9	3.0	13.8	2.3
60～69歳	100.0 (568)	43.0	42.1	41.2	45.2	33.1	31.7	24.3	27.8	3.0	15.5	2.8
70～79歳	100.0 (451)	40.6	34.6	35.7	38.8	27.9	31.3	20.8	31.5	4.0	22.0	7.3
80歳以上	100.0 (136)	33.1	27.2	24.3	30.1	17.6	21.3	13.2	30.1	2.9	33.8	7.4
女	100.0 (3,734)	46.4	51.8	53.6	42.8	27.6	37.5	27.2	33.4	4.6	10.5	3.4
20～29歳	100.0 (469)	50.5	<u>61.6</u>	<u>69.3</u>	39.2	23.2	40.5	34.8	30.7	6.0	6.2	0.9
30～39歳	100.0 (711)	49.1	<u>68.5</u>	<u>68.5</u>	43.2	18.8	37.7	28.4	32.8	8.0	<u>3.8</u>	1.4
40～49歳	100.0 (565)	48.5	57.3	55.0	<u>50.3</u>	31.7	38.1	29.0	36.5	4.4	4.1	1.2
50～59歳	100.0 (588)	55.6	52.6	60.2	49.8	38.9	44.0	29.6	36.4	4.4	6.6	1.4
60～69歳	100.0 (691)	44.7	46.6	44.1	47.5	31.3	40.1	25.9	38.2	3.3	11.6	4.8
70～79歳	100.0 (517)	34.6	31.1	33.3	30.2	25.3	28.2	19.9	28.2	1.2	23.4	9.7
80歳以上	100.0 (193)	29.5	22.8	24.4	23.3	17.6	23.3	15.0	20.2	2.6	37.8	7.3

(2) 子育て支援のために重要なこと〔複数回答〕

- 世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

6歳未満の子どもがいる世帯では、「医療体制の充実」が子育てのために重要であると答えた割合が8割弱

子育てのために重要なことを世帯類型別にみると、「医療体制の充実（小児・母子医療）」と答えた割合は、総数の50.3%に対して、18歳未満の子どもがいる世帯は65.8%と高くなっており、特に6歳未満の子どもがいる世帯に限った場合76.8%と総数と比較して25ポイント以上高い。「保育サービス（時間外保育・病児保育など）の充実」と答えた人の割合も、全体では50.7%であったのに対し、6歳未満の子どもがいる世帯は67.7%、3歳未満の子どもがいる世帯では70.6%と高くなっている。

一方、「若者の社会的自立の促進（就労促進など）」と答えた人の割合は、総数が27.7%であったのに対し、18歳未満の子どもがいる世帯では24.2%と低い。

母子世帯では、「ひとり親家庭の自立支援（就業機会の確保など）」と答えた人の割合が61.2%と最も高かった。（表 -8-2）

表 -8-2 子育て支援のために重要なこと〔複数回答〕

- 世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

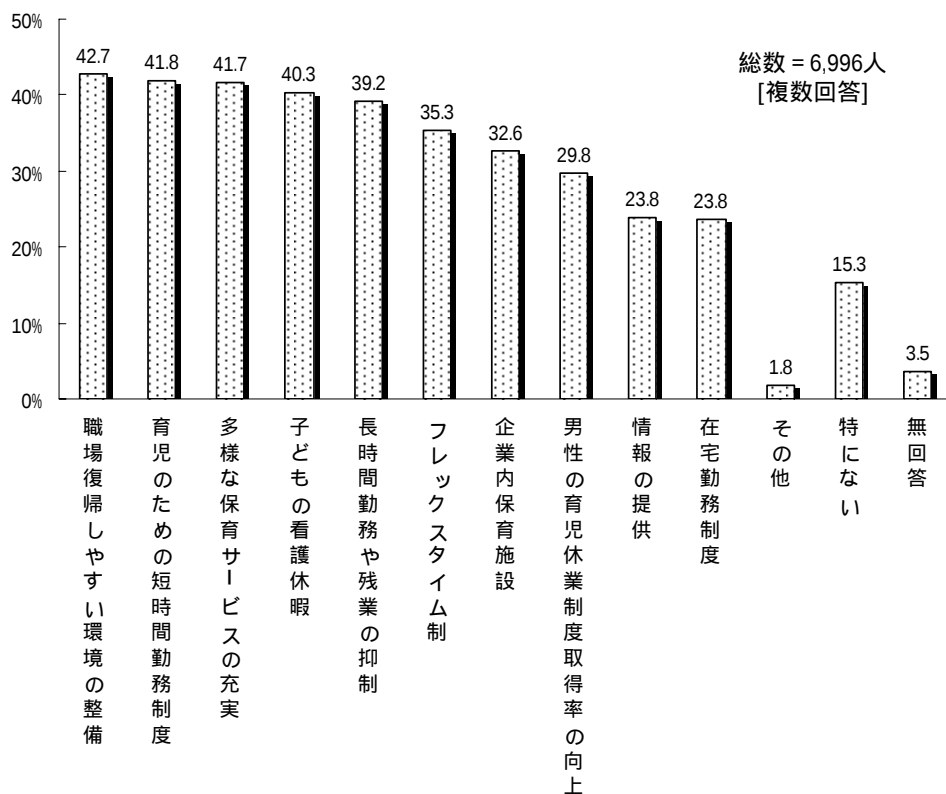
		総 数	相 談 ・ 支 援 体 制 の 強 化	子 医 療 体 制 の 充 実 （ 小 児 ・ 母 子 医 療 ）	育 保 育 サ ー ビ ス （ 時 間 外 保 育 ・ 病 児 保 育 な ど ） の 充 実	学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 に よ る 教 育 活 動 の 推 進	若 者 の 社 会 的 自 立 の 促 進 （ 就 労 促 進 な ど ）	児 童 虐 待 防 止 対 策 の 推 進	ひ と り 親 家 庭 の 自 立 支 援 （ 就 業 機 会 の 確 保 な ど ）	有 害 な 情 報 取 組 み 環 境 か ら 子 ど も を 守 る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (6,996)	44.9	50.3	50.7	43.0	27.7	34.8	25.2	30.4	4.5	12.0	3.0
子 ど も の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる	100.0 (1,720)	46.6	65.8	56.3	48.7	24.2	35.8	25.0	36.6	6.5	3.5	0.9
	18歳未満の子どもがいない	100.0 (5,253)	44.4	45.2	48.8	41.1	28.8	34.5	25.3	28.3	3.8	14.9	3.6
	(再掲) 6歳未満の子どもがいる	100.0 (786)	46.3	76.8	67.7	45.4	18.7	35.1	24.2	35.4	8.1	1.7	0.8
	(再掲) 3歳未満の子どもがいる	100.0 (453)	46.1	76.4	70.6	43.3	19.9	36.6	24.1	36.0	8.6	1.8	1.1
高 齢 者 ・ 母 子 世 帯 別	高齢者世帯	100.0 (1,172)	36.4	32.6	32.6	35.8	24.5	29.7	19.6	30.9	3.3	23.8	7.8
	母子世帯	100.0 (49)	42.9	59.2	53.1	42.9	32.7	36.7	61.2	38.8	6.1	4.1	-
	その他の世帯	100.0 (5,752)	46.7	53.8	54.3	44.5	28.3	35.8	26.1	30.1	4.7	9.8	2.0

2 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと

仕事と家庭の両立のために充実した方がよいと思われることを尋ねたところ「職場復帰しやすい環境の整備(育児休業中の定期的な情報交換など)」42.7%、「育児のための短時間勤務制度」41.8%、「多様な保育サービスの充実(時間外保育・病児保育など)」41.7%が4割強の回答となった。(図 -8-2)

問 仕事と家庭生活の両立のために充実した方がよいと思われることは、どんなことですか。

図 -8-2 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと



(1) 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

仕事と家庭の両立のために「育児のための短時間勤務制度」の充実を挙げる 20 代、30 代女性
性は 6 割以上、「男性の育児休業取得率の向上」を挙げた 20 代、30 代男性は 4 割弱

仕事と家庭の両立のために充実した方がよいことを性・年齢階級別にみると、20 代女性では、
「育児のための短時間勤務制度」と答えた人が最も多く 62.0%、次いで 60.8%が「職場復帰
しやすい環境の整備」を挙げている。30 代女性も「育児のための短時間勤務制度」を挙げた人
が最も多かったが(62.4%)、2 番目は「多様な保育サービスの充実」の 58.5%であった。「男
性の育児休業制度取得率の向上」と回答している 20 代、30 代男性の割合は 4 割弱と、他の年
代の男性と比べて高くなっている。(表 -8-3)

表 -8-3 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	子 ど も の 看 護 休 暇	度 育 児 の た め の 短 時 間 勤 務 制	長 時 間 勤 務 や 残 業 の 抑 制	フ レ ッ ク ス タ イ ム 制	在 宅 勤 務 制 度	企 業 内 保 育 施 設	多 様 な 保 育 サ ー ビ ス の 充 実 ど （ 時 間 外 保 育 ・ 病 児 保 育 な ど ）	男 性 の 育 児 休 業 制 度 取 得 率 の 向 上	情 報 交 換 な ど （ 育 児 休 業 中 の 定 期 的 な 整 備 ）	職 場 復 帰 し や す い 環 境 的 な 整 備 （ 育 児 休 業 中 の 定 期 的 な 整 備 ）	情 報 の 提 供 （ 立 つ た ま の 再 就 職 の 準 備 に 役 立 つ ）	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	40.3	41.8	39.2	35.3	23.8	32.6	41.7	29.8	42.7	23.8	1.8	15.3	3.5	
男	100.0 (3,258)	32.6	34.9	39.3	33.2	23.6	27.5	36.8	<u>28.2</u>	37.9	21.1	1.7	17.9	3.0	
20～29歳	100.0 (353)	41.4	40.2	49.6	36.5	25.8	26.3	34.6	<u>38.0</u>	42.2	21.5	2.0	17.3	-	
30～39歳	100.0 (611)	38.1	41.1	44.8	39.3	28.6	30.8	38.0	<u>38.1</u>	39.4	23.7	2.3	7.9	0.8	
40～49歳	100.0 (573)	34.4	35.1	38.0	36.3	28.3	30.9	41.7	31.8	38.4	23.4	1.6	12.6	1.0	
50～59歳	100.0 (566)	29.3	33.2	39.2	33.6	21.4	26.5	40.5	24.2	40.1	20.7	1.6	19.1	2.7	
60～69歳	100.0 (568)	29.6	35.4	35.7	32.4	19.4	26.8	38.6	20.6	38.2	21.3	1.8	20.6	3.3	
70～79歳	100.0 (451)	28.4	28.4	33.9	24.2	19.7	24.8	29.0	21.5	34.8	18.0	1.3	26.8	8.2	
80歳以上	100.0 (136)	18.4	19.1	25.7	16.2	16.2	16.9	20.6	14.0	17.6	9.6	0.7	41.9	11.0	
女	100.0 (3,734)	47.1	47.8	39.0	37.1	23.9	37.1	46.0	31.2	46.9	26.2	1.8	12.9	4.0	
20～29歳	100.0 (469)	59.5	<u>62.0</u>	50.3	51.2	30.5	45.4	53.3	46.7	<u>60.8</u>	30.5	1.7	5.3	0.9	
30～39歳	100.0 (711)	58.4	<u>62.4</u>	41.9	43.3	32.8	46.8	<u>58.5</u>	39.0	50.8	32.8	3.7	4.6	1.4	
40～49歳	100.0 (565)	51.7	50.1	41.2	45.1	27.6	37.3	48.7	29.9	52.4	26.0	1.4	6.2	1.1	
50～59歳	100.0 (588)	49.3	49.5	44.2	40.0	24.5	40.5	51.9	32.7	54.1	30.4	1.4	9.2	1.9	
60～69歳	100.0 (691)	41.1	39.4	37.0	31.7	17.7	34.0	41.0	27.5	41.7	24.2	0.9	15.3	6.2	
70～79歳	100.0 (517)	30.2	29.6	25.5	20.9	14.1	23.4	28.6	17.2	31.5	16.6	1.4	28.6	11.4	
80歳以上	100.0 (193)	21.2	25.4	22.3	10.9	10.9	17.1	20.7	15.0	20.2	12.4	3.1	42.5	8.8	

(2) 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕

- 世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

3 歳未満の子どもがいる世帯では、仕事と家庭の両立のために「育児のための短時間勤務制度」を充実した方がよいと答えた割合が6割以上

仕事と家庭の両立のために充実した方がよいことを世帯類型別にみると、総数と比べて、18歳未満の子どもがいる世帯の方が5ポイント以上高いのは、「子どもの看護休暇」「育児のための短時間勤務制度」「多様な保育サービスの充実（時間外保育・病児保育など）」「男性の育児休業制度取得率の向上」の4つであった。4つすべてにおいて、子どもの年齢が低いほど選択する割合が上がっており、3歳未満の子どもがいる世帯では、「育児のための短時間勤務制度」と回答した割合が6割を超えている。

母子世帯では、「子どもの看護休暇」と回答した割合が61.2%と最も高かった。また、「情報の提供（仕事と子育ての両立や再就職の準備に役立つもの）」と回答した割合は、総数では23.8%であったが、母子家庭では40.8%と17ポイント上回っている。（表 -8-4）

表 -8-4 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕

- 世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

		総 数	子 ど も の 看 護 休 暇	育 児 の た め の 短 時 間 勤 務 制 度	長 時 間 勤 務 や 残 業 の 抑 制	フ レ ッ ク ス タ イ ム 制	在 宅 勤 務 制 度	企 業 内 保 育 施 設	多 様 な 保 育 サ ー ビ ス の 充 実 （ 時 間 外 保 育 ・ 病 児 保 育 な ど ）	男 性 の 育 児 休 業 制 度 取 得 率 の 向 上	職 場 復 帰 し や す い 情 報 交 換 な ど （ 育 児 休 業 中 の 定 期 的 な 情 報 交 換 な ど ）	再 就 職 の 準 備 に 役 立 つ も の （ 情 報 の 提 供 （ 仕 事 と 子 育 て の 両 立 や 再 就 職 の 準 備 に 役 立 つ も の ）	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (6,996)	<u>40.3</u>	<u>41.8</u>	39.2	35.3	23.8	32.6	<u>41.7</u>	<u>29.8</u>	42.7	<u>23.8</u>	1.8	15.3	3.5
子 ど も の 有 無	18歳未満の子どもがいる	100.0 (1,720)	<u>50.1</u>	<u>49.2</u>	42.9	38.0	27.8	35.5	<u>47.7</u>	<u>35.1</u>	43.7	27.7	2.7	7.3	1.3
	18歳未満の子どもがいない	100.0 (5,253)	37.1	39.3	37.9	34.3	22.4	31.5	39.7	28.1	42.3	22.5	1.5	17.9	4.3
	(再掲) 6歳未満の子どもがいる	100.0 (786)	<u>55.7</u>	<u>56.1</u>	44.5	38.9	32.6	41.7	<u>54.5</u>	<u>41.6</u>	41.9	30.4	3.3	3.9	0.8
	(再掲) 3歳未満の子どもがいる	100.0 (453)	<u>58.1</u>	<u>61.6</u>	48.1	39.5	31.8	45.3	<u>57.0</u>	<u>45.3</u>	46.4	31.1	4.0	3.1	0.7
	高齢者・母子	高齡者世帯	100.0 (1,172)	29.8	29.2	29.1	22.2	16.6	24.0	29.3	20.6	31.3	17.0	1.4	30.1
	母子世帯	100.0 (49)	<u>61.2</u>	44.9	42.9	34.7	32.7	26.5	44.9	12.2	30.6	<u>40.8</u>	4.1	4.1	-
	その他の世帯	100.0 (5,752)	42.2	44.3	41.1	37.9	25.1	34.3	44.2	31.8	45.1	25.0	1.8	12.4	2.5

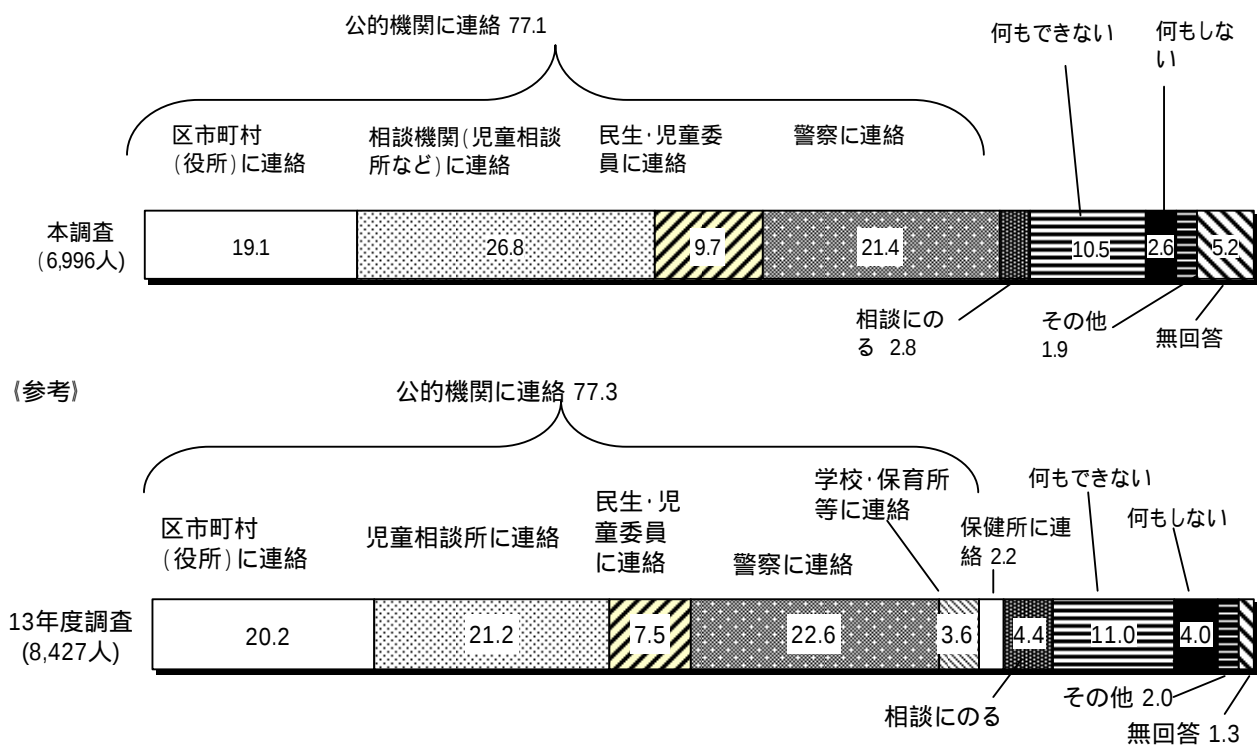
第9章 児童・高齢者虐待

1 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応

身近で児童虐待や高齢者虐待と思われるようなことを見聞きしたらどうするか尋ねたところ、「相談機関(児童相談所など)に連絡する」が最も多く 26.8%、次いで「警察に連絡」が 21.4%、「区市町村(役所)に連絡」が 19.1%と続く。なお、これらの公的機関への連絡は 77.1%と 8割弱であった。(図 -9-1)

問 児童虐待や高齢者虐待が問題になっていますが、もし、身近で児童虐待や高齢者虐待と思われるようなことを見聞きしたら、あなたはどうしますか。

図 -9-1 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応



(1) 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応 - 性・年齢階級別

児童・高齢者虐待を見聞きした場合、男性は「警察に連絡する」、女性は「相談機関に連絡する」が最も多い。

児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応を性・年齢階級別にみると、男性は「警察に連絡する」が最も多く 25.9%、次いで「相談機関に連絡する」の 23.1%であったが、女性は「相談機関に連絡する」が最も多く 30.0%、2 番目が「区市町村（役所）に連絡する」の 18.6%であった。

「何をしたらいいのかわからないので何もできない」の割合は、20代男性16.4%、20代女性16.0%、また、80代女性の18.7%が他の年代と比べて高くなっている。(表 -9-1)

表 -9-1 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応 - 性・年齢階級別

	総 数	連 区 絡 市 す る 村 (役 所) に	相 談 機 関 に 連 絡 す る	地 域 の 民 生 委 員 に 連 絡 す る ・ 児	警 察 に 連 絡 す る	当 事 者 の 相 談 に の る	か ら し て い い で い の か も	何 を し て い い の か も	関 わ り を 持 ち た く な い の か も	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	19.1	26.8	9.7	21.4	2.8	10.5	2.6	1.9	5.2	
男	100.0 (3,258)	19.6	23.1	7.8	25.9	3.4	9.9	3.3	1.9	5.2	
20～29歳	100.0 (353)	13.0	21.2	2.0	30.6	6.8	16.4	5.7	2.0	2.3	
30～39歳	100.0 (611)	14.7	28.6	3.3	29.5	5.1	10.5	3.3	1.5	3.6	
40～49歳	100.0 (573)	16.9	29.3	5.4	25.5	3.1	10.6	3.1	1.6	4.4	
50～59歳	100.0 (566)	20.8	22.1	8.0	28.4	2.3	8.8	2.5	1.2	5.8	
60～69歳	100.0 (568)	23.9	20.4	11.4	23.6	1.6	7.9	2.8	1.9	6.3	
70～79歳	100.0 (451)	26.4	17.5	15.7	18.6	2.0	6.9	2.9	3.1	6.9	
80歳以上	100.0 (136)	24.3	11.8	11.0	23.5	4.4	8.8	3.7	2.9	9.6	
女	100.0 (3,734)	18.6	30.0	11.4	17.5	2.3	11.0	2.0	2.0	5.2	
20～29歳	100.0 (469)	10.9	36.9	3.2	18.8	4.3	16.0	3.2	2.3	4.5	
30～39歳	100.0 (711)	18.3	39.4	3.8	17.4	1.3	12.4	1.7	1.8	3.9	
40～49歳	100.0 (565)	20.5	40.5	5.7	12.4	1.8	11.5	1.4	2.3	3.9	
50～59歳	100.0 (588)	20.6	31.3	10.7	19.7	2.2	8.0	0.9	1.7	4.9	
60～69歳	100.0 (691)	20.8	23.7	16.8	20.8	2.0	7.2	1.0	1.6	5.9	
70～79歳	100.0 (517)	18.2	14.3	25.7	16.2	2.3	9.9	3.3	1.9	8.1	
80歳以上	100.0 (193)	19.7	8.8	21.2	14.0	4.1	18.7	5.7	2.6	5.2	

(2) 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応 - 世帯類型別 (子どもの有無、高齢者の有無別)

児童・高齢者虐待を見聞きした場合、6 歳未満の子どもがいる世帯では「相談機関に連絡する」、高齢者のみの世帯では「区市町村 (役所) に連絡する」がそれぞれ最も多い。

児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応を世帯類型別にみると、「相談機関に連絡する」の割合は、6 歳未満の子どもがいる世帯が 38.8% と総数よりも 13 ポイント近く高かった。

「区市町村 (役所) に連絡する」の割合は、高齢者のみの世帯が最も多く 24.1% あった。(表 -9-2)

表 -9-2 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応 - 世帯類型別 (子どもの有無、高齢者の有無別)

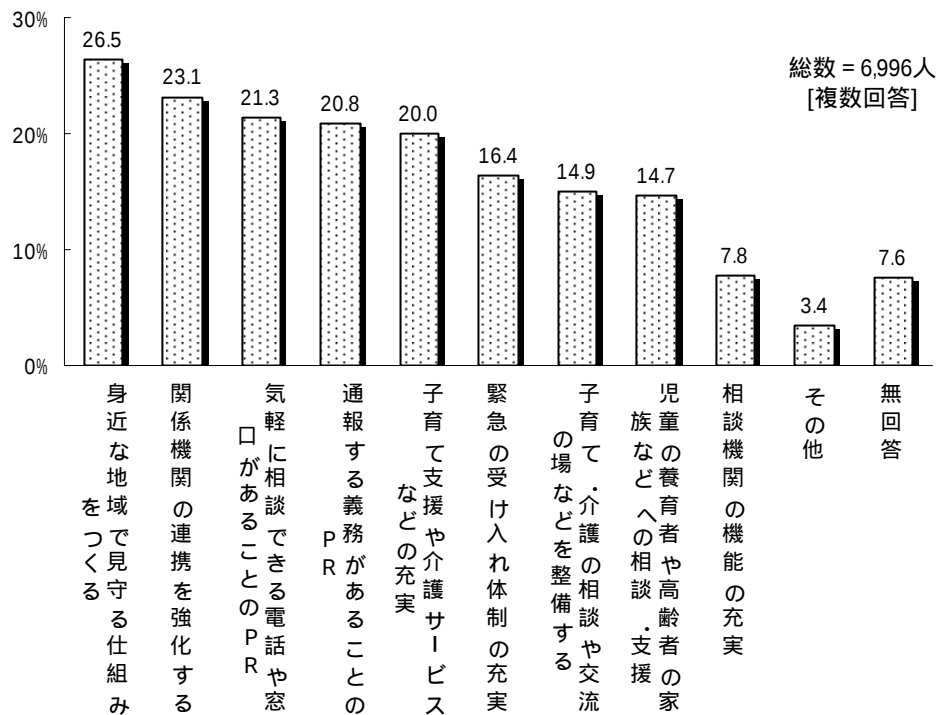
		総 数	す 区 市 町 村 (役 所) に 連 絡	相 談 機 関 に 連 絡 す る	員 地 域 の 民 生 委 員 に 連 絡 す る	警 察 に 連 絡 す る	当 事 者 の 相 談 に の る	な 何 い を し て 、 い い も の で か わ な い ら	で 関 、 わ り を 持 た な い の	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (6,996)	19.1	26.8	9.7	21.4	2.8	10.5	2.6	1.9	5.2
子 ど も の 有 無	18 歳未満の子どもがいる	100.0 (1,720)	17.9	38.2	4.7	18.1	3.3	9.6	2.0	1.8	4.4
	18 歳未満の子どもがいない	100.0 (6,187)	19.3	25.3	10.6	21.9	2.7	10.5	2.7	1.9	5.3
	(再掲) 6 歳未満の子どもがいる	100.0 (786)	17.8	38.8	3.2	17.3	3.8	10.4	2.0	2.0	4.6
	(再掲) 3 歳未満の子どもがいる世帯	100.0 (453)	17.7	38.4	2.4	19.0	4.0	10.4	2.6	1.8	3.8
高 齢 者 の 有 無	高齢者のみの世帯	100.0 (1,168)	24.1	15.9	18.7	18.9	2.3	8.2	3.3	2.1	6.4
	高齢者がいる世帯	100.0 (1,814)	19.2	23.1	13.6	20.1	2.6	11.4	2.4	1.8	5.8
	高齢者がいない世帯	100.0 (3,991)	17.6	31.7	5.4	22.7	3.0	10.7	2.5	1.9	4.5

2 児童・高齢者虐待の防止策

児童・高齢者虐待はどうすれば防止できるか尋ねたところ、「身近な地域で見守る仕組みをつくる」が最も多く 26.5%、次いで「関係機関の連携を強化する」23.1%、「気軽に相談できる電話や窓口があることのPR」21.3%と続く。(図 -9-2)

問 児童虐待や高齢者虐待はどうすれば防止できると思いますか。

図 -9-2 児童・高齢者虐待の防止策



(1) 児童・高齢者虐待の防止策〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

児童・高齢者虐待の防止策の「身近な地域で見守る仕組みをつくる」の割合は65歳以上の高齢者で高く3割。

児童・高齢者虐待の防止策を性・年齢階級別にみると、「身近な地域で見守る仕組みをつくる」の割合は65歳以上で高く、30.8%と3割を超えている。「子育て支援や介護サービスなどの充実」と回答した割合は、女性（22.3%）の方が男性（17.3%）より5ポイント高かった。

20代は、男女とも他の年代に比べて「子育て・介護の不安やストレスを解消するための相談や交流の場などを整備する」の割合が高く、20%を超えている。（表 -9-3）

表 -9-3 児童・高齢者虐待の防止策〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	く 身 近 な 地 域 で 見 守 る 仕 組 み を つ く る	の 子 育 て 支 援 や 介 護 サ ー ビ ス な ど の 充 実	ど 児 童 の 養 育 者 や 高 齢 者 の 家 族 な ど へ の 相 談 ・ 支 援 の 充 実	場 を 解 消 す ・ 介 護 の 不 安 や ス ト レ ス を 整 備 す る	子 育 て の 不 安 や ス ト レ ス を 整 備 す る	報 告 す る 義 務 者 の 充 実	も や 高 齢 者 の 見 守 り を 行 う こ と を 促 す	や 窓 口 が あ る こ と を 人 に 知 ら せ る	自 身 が あ る こ と を 人 に 知 ら せ る	虐 待 さ れ て い る こ と を 人 に 知 ら せ る	実 際 に あ る こ と を 人 に 知 ら せ る	児 童 の 相 談 機 関 の 充 実	係 病 院 の 連 携 を 強 化 す る	児 童 の 相 談 機 関 の 充 実	緊 急 の 受 け 入 れ 体 制 の 充 実	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	26.5	20.0	14.7	14.9	20.8	21.3	7.8	23.1	16.4	3.4	7.6						
男	100.0 (3,258)	29.2	17.3	13.8	13.0	21.5	20.9	8.7	24.0	14.5	4.3	7.3						
20～29歳	100.0 (353)	29.2	17.0	13.6	22.1	17.3	19.5	7.1	19.8	12.7	4.2	8.8						
30～39歳	100.0 (611)	28.6	17.7	14.2	17.5	22.7	20.6	8.7	20.5	13.6	4.7	6.9						
40～49歳	100.0 (573)	28.4	17.1	11.9	13.4	22.0	19.9	11.7	20.9	16.9	4.9	7.7						
50～59歳	100.0 (566)	29.0	21.6	13.1	11.0	20.8	21.7	10.1	25.3	14.5	3.4	7.1						
60～69歳	100.0 (568)	31.5	16.2	13.6	10.4	20.4	21.3	7.7	29.2	16.4	3.7	5.6						
70～79歳	100.0 (451)	28.2	14.6	18.2	7.1	22.8	22.0	6.9	28.4	13.1	4.0	7.5						
80歳以上	100.0 (136)	29.4	14.0	9.6	6.6	26.5	22.1	5.9	21.3	9.6	8.1	11.8						
女	100.0 (3,734)	24.1	22.3	15.6	16.6	20.3	21.6	6.9	22.3	18.0	2.5	7.9						
20～29歳	100.0 (469)	25.4	24.3	15.8	23.9	19.6	19.4	6.2	20.9	14.1	2.3	8.3						
30～39歳	100.0 (711)	16.2	27.7	21.5	19.7	17.2	19.8	7.3	26.0	16.0	2.3	7.9						
40～49歳	100.0 (565)	19.6	25.1	16.3	16.8	21.6	20.4	7.3	26.5	19.8	1.8	6.7						
50～59歳	100.0 (588)	21.9	23.0	13.8	18.0	18.5	20.9	9.5	24.1	21.3	1.9	7.3						
60～69歳	100.0 (691)	28.1	19.5	14.6	14.3	22.9	23.9	6.7	21.9	18.5	2.0	7.1						
70～79歳	100.0 (517)	33.7	16.4	9.9	9.7	22.4	25.3	4.6	15.7	20.3	3.5	9.7						
80歳以上	100.0 (193)	29.5	11.9	15.5	9.3	19.7	21.8	5.2	13.5	10.9	7.8	9.8						
(再掲)総数65歳以上	100.0 (1,980)	30.8	16.0	13.2	9.9	22.7	22.9	6.2	23.0	15.7	3.9	7.9						

児童・高齢者虐待の防止策について、6歳未満の子どもがいる世帯では、「関係機関の連携を強化する」、高齢者のみの世帯では「身近な地域で見守る仕組みをつくる」が最も多い。

また、高齢者のみの世帯でみると、「身近な地域で見守る仕組みをつくる」が最も多く 31.3%、「虐待されている子どもや高齢者を発見した人は、通報する義務があることを PR する」が次いで 25.1%と続く。(表 -9-4)

		総 数	つ 身 近 な 地 域 で 見 守 る 仕 組 み を つ く る	子 育 て 支 援 や 介 護 サ ー ビ ス な ど の 充 実	児 童 の 養 育 者 や 高 齢 者 の 家 族 な ど へ の 相 談 ・ 支 援 の 充 実	子 育 て ・ 介 護 の 不 安 や ス ト レ ス を 解 消 す る た め の 相 談 や 交 流 の 場 な ど を 整 備 す る	虚 待 さ れ て い る と 思 わ れ る 子 ど も や 高 齢 者 を 発 見 し た 人 は 、 通 報 す る 義 務 が あ る こ と を P R す る	虚 待 さ れ て い る 子 ど も や 高 齢 者 自 身 が 、 気 軽 に 相 談 で き る 電 話 や 窓 口 が あ る こ と を P R す る	児 童 相 談 所 や 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー な ど の 相 談 機 関 の 機 能 を 充 実 す る	園 ・ 病 院 ・ 学 校 ・ 保 育 所 ・ 幼 稚 セ ン タ ー な ど の 関 係 機 関 の 連 携 を 強 化 す る	児 童 相 談 所 ・ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 学 校 ・ 保 育 所 ・ 幼 稚 セ ン タ ー な ど の 関 係 機 関 の 連 携 を 強 化 す る	緊 急 の 受 け い れ 体 制 の 充 実	そ の 他	無 回 答
総数		6,996 (6,996)	26.5	20.0	14.7	14.9	20.8	21.3	7.8	23.1	16.4	3.4	7.6	
子 ど も の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる	1,720 (1,720)	23.9	23.3	16.4	18.8	18.6	18.4	8.6	25.1	16.0	2.6	7.6	
	18歳未満の子どもがいない	5,253 (5,253)	27.4	18.9	14.2	13.6	21.5	22.2	7.5	22.5	16.4	3.6	7.7	
	(再掲) 6歳未満の子どもがいる	786 (786)	22.9	23.8	16.5	22.3	17.0	17.8	8.8	25.4	13.9	2.9	8.1	
	(再掲) 3歳未満の子どもがいる世帯	453 (453)	22.5	24.3	15.9	24.3	17.4	20.3	8.2	23.4	13.0	2.9	8.2	
高 齢 者 の 有 無 別	高齢者のみの世帯	1,168 (1,168)	31.3	15.1	13.1	9.2	25.1	23.5	6.0	22.5	15.2	4.5	7.4	
	高齢者がいる世帯	1,814 (1,814)	28.6	18.3	14.6	13.7	19.2	21.6	7.3	22.5	17.3	3.1	7.8	
	高齢者がいない世帯	3,991 (3,991)	24.2	22.2	15.3	17.1	20.3	20.5	8.5	23.6	16.2	3.2	7.6	